

# SPA8000 電話アダプタの設定 リング設定

## 目標

機能を設定する リングは SPA8000 をカスタマイズすることを可能にします。それはコール ウェイティングに使用するトーンを変更するオプションがありましたりメモ、コール、およびデフォルト リングを保持します。この技術情報は SPA8000 のリング設定を行う方法を説明します。

## 適当なデバイス

- SPA8000

## [Software Version]

- 6.1.12

## 設定 リング設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインはログインを > 進みました > 音声 > L1-L8 『Admin』 を選択し。Line ページは開きます:

The screenshot shows the 'Voice' configuration page for line L1. The 'Line Enable' is set to 'yes' and 'Trunk Group' is 'none'. Under 'Streaming Audio Server (SAS)', 'SAS Enable' is 'no' and 'SAS DLG Refresh Intvl' is '30'. Under 'NAT Settings', 'NAT Mapping Enable' is 'no' and 'NAT Keep Alive Enable' is 'no'. Under 'Network Settings', 'SIP ToS/DiffServ Value' is '0x68', 'SIP CoS Value' is '3', 'RTP ToS/DiffServ Value' is '0xb8', 'RTP CoS Value' is '6', and 'Network Jitter Level' is 'high'. There are also fields for 'NAT Keep Alive Msg' (\$NOTIFY), 'NAT Keep Alive Dest' (\$PROXY), and 'Jitter Buffer Adjustment' (up and down).

注: 同じ 設定は詳細設定か基本的な設定で作成することができます。

The 'Ring Settings' page shows various ring-related parameters. 'Default Ring' is set to '1', 'Hold Reminder Ring' is '8', 'Cfwd Ring Splash Len' is '15', 'VMWI Ring Splash Len' is '10', and 'Ring On No New VM' is 'yes'. 'Default CWT' is '1', 'Call Back Ring' is '7', 'Cblk Ring Splash Len' is '15', and 'VMWI Ring Policy' is 'New VM Becomes Available'. At the bottom, there are 'Undo All Changes' and 'Submit All Changes' buttons.

ステップ 2. リング設定エリアにスクロールして下さい。

ステップ 3. ユーザがデフォルト リング ドロップダウン リストから割り当てることを望むデフォルト リングを選択して下さい。デフォルト リングはコールが受信される時使用されます。オプション 1 ~ 8 のそれぞれはコールのための別のトーンを与えます。

ステップ 4.ユーザが保持メモリングドロップダウンリストから使用するために望む保持メモリングを選択して下さい。保持メモリングが人がまだ保留中であることを示すのに使用されています。利用可能なオプションは 1～8.です。

ステップ 5.コールが *Cfwd* リングスプラッシュ *LEN* フィールドで (0 から 10 秒) 転送されるときリングスプラッシュの期間に入って下さい。デフォルト設定は 0 秒です。

ステップ 6.音声メッセージ待機インディケータ (VMWI) 場合が *VMWI* リングスプラッシュ *LEN* フィールドで (0 から 10 秒) 加えられる前に新しいメッセージが着くときリングスプラッシュの期間に入って下さい。デフォルト設定は 0 秒です。

ステップ 7.新しい音声メッセージが新しい VM ドロップダウンリストのリングから着かないとき鳴ります電話のようなユーザを『IF』を選択して下さい。

ステップ 8.ユーザがデフォルト *CWT* ドロップダウンリストからのウェイティングコールのために使用するために望むトーンを選択して下さい。

ステップ 9.ユーザが鳴らすドロップダウンリストをコールからの背部コールのために使用するために望むトーンを選択して下さい。

ステップ 10.コールが *Cblk* リングスプラッシュ *LEN* フィールドで (0 から 10 秒) ブロックされるときリングスプラッシュの期間に入って下さい。デフォルト設定は 0 秒です。

ステップ 11.ユーザが *VMWI* リングポリシードロップダウンリストからの Voice Message Box に割り当ててることを望むポリシーを選択して下さい。3つの有効値があります:

- 利用可能な新しい VM — 読まれなかった音声メールがあるときユーザにアラート (リング) を与えます。
- 新しい VM はなりません利用可能に—音声メールボックスがメッセージからあらゆるメッセージに変更しないときユーザにアラート (リング) を与えます。
- 新しい VM は着きます—新しい音声メールが着くときユーザにアラート (リング) を与えます。

ステップ 12: 設定を保存するために**すべての変更** 『SUBMIT』 をクリックして下さい。